

国語科(3年)

☆国語科で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

3年生の国語は、年間245時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

3年生では、相手や目的に応じて、話したり書いたりすること、内容の中心をとらえて、聞いたり読んだりすることが学習のめあてになっています。漢字を確実に身に付け、文章の中で使えるよう学習を進めていきます。また、ローマ字の学習をします。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱いに関すること」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

「話すこと・聞くこと」では、具体的な相手や目的を設定し、日常生活の中で身近に経験したことや調べたことなどの中から話題を求め、それについて話したり聞いたりすることの活動を多く取り入れることが大切になってきます。

「書くこと」では、事柄ごとに書く内容を整理したり簡単な組み立てを考えたりし、徐々に段落を考えて書いたり、段落と段落との続き方に注意して書いたりできるようにしましょう。

「読むこと」では、思考力が飛躍的に伸びる時期なので読書の内容と方法を工夫する必要があります。辞書を利用して調べることや学習習慣をつけて読むことがよいです。読書量を増やしましょう。

「我が国の言語文化に関する事項」では、辞書を使って語彙を増やしたり、俳句やことわざも学んだりします。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

①「主体的に学習に取り組む態度」

- 「言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。」
- 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等

②「思考・判断・表現」

- 「筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力、また、日常生活における人とかかわり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。」
- スピーチ、発表、聞き取りメモ等
- 作文、作文メモ、単元テスト(表現)等
- 音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等

③「知識及び技能」

- 「日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。」
- 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品

☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習予定

月	学習すること
4	○よく聞いて、じこしょうかい ○どきん わたしのさいこうの一日 ○春風をたどって ○図書館たんでいさん ○国語辞典を使おう ○漢字の広場① ○春のくらし
5	○もっと知りたい、友達のこと ○漢字の音と調 ○漢字の広場② ○文庫・こまを楽しむ ○暗唱全体と中心
6	○気持ちよめて「来てください」 ○漢字の広場③ ○まいごのかぎ ○俳句を楽しもう ○こそあど言葉を使いこなそう ○[情報]引用するとき
7	○仕事の工夫、見つけたよ [コラム] 符号など ○夏のくらし ○本で知ったことをクイズにしよう - 鳥になったきょうりゅうの話
夏休み	夏休み読書チャレンジ
9	○わたしと小鳥とすずと - 夕日がせなかをおしてくる ○こんな係がクラスにほしい ○ポスターを読もう ○書くことを考えるときは ○漢字の組み立て ○ローマ字
10	○ちいちゃんのかげおくり ○修飾語を使って書こう ○秋のくらし ○おすめの一さつを決めよう
11	○すがたをまえる大豆 - 食べ物のみつを教えます ○ことわざ・故事成語 ○漢字の意味 ○短歌を楽しもう ○漢字の広場④
12	○三年とうげ ○わたしの町のよいところ ○冬のくらし
冬休み	冬休み読書チャレンジ
1	○詩のくふうを楽しもう ○四枚の絵を使って ○カンジーはかせの音調かるた ○漢字の広場⑤ ○ありの行列 ○つたわる言葉で表そう
2	○たから島のぼうけん ○お気に入り場所、教えます
3	○モチモチの本 ○漢字の広場⑥ ○三年生をふり返って

社会科 3年

◆ 社会で学習すること

3年生の社会科は、1.わたしたちのまち 鴻巣市、2.わたしたちのくらしをささえる人々の仕事 3.くらしを守る 4.わたしたちのくらしのうつりかわりについて、年間70時間の授業を通し、学習します。鴻巣市の地形や土地利用、産業や消費生活を通して広く他地域とも結びついていること、地域の安全を守るために関係機関や地域の人々が相互に連携し協力していること等を学習します。また、現代までの人々の生活の変化について、体験を通して学習します。

◆ 学習の仕方について

- 見学・調査
 - 見学・調査に行くときは、見学のしおりを使います。
 - 見学・調査に行く前に、各自で調べたいことを整理しておきます。
 - 見学・調査のルールやマナーは、事前に学習しておきます。

○ 資料活用

- スーパーマーケットや消防署、公民館、人形工場、フラワーセンター等を見学します。
- 教科書・副読本「こうのす」、手紙、コンピュータ、現地資料、広報「こうのす」、インタビュー資料、昔の道具や写真・絵などを使用します。

○ 地図・地図帳の活用

- 学校のまわりの様子を観察し、地図記号や四方位などを用いて絵地図に表し実際の地図と比べます。
- 学習を進展させ、鴻巣市の地形、土地利用を学習します。

○ 表現活動

- 観察や見学・調査、体験などを通して調べたことをまとめ、発表します。
- 新聞や手紙、絵地図、絵年表、紙芝居、劇、模造紙、ガイドブック、コンピュータ、クイズ、本などで表現し、発表します。

◆ 評価の観点

3つの観点で評価します。

- ① 身近な地域や鴻巣市の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けている。(知識・技能)
- ② 社会的現象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを表現している。(思考・判断・表現)
- ③ 社会的現象について、主体的に学習の問題を解決しようとし、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を持っている。(主体的に学習に取り組む態度)

◆ 保護者の方へ ◆

3年生という発達段階から考えると、体験的活動を通して学んでいくことが大切だと考えます。このため3年生は鴻巣市の事を中心に学習します。学校の学習だけでなく、名所巡りをしたり、市内巡回バス「フラワー号」に乗ったりして家族で鴻巣市を探索してみてください。また、市内にある遺跡や文化財を児童が自主的に調べに行き、地域の方に聞き取り調査をしたりする際には、ご協力をお願いします。

地域で行われている消費生活の工夫や特色についても学習しますので、夕食の買い物計画を立てさせらせてみたらいかがでしょうか。



月	学習の予定
4	1わたしたちのまち鴻巣市 (1) 学校のまわりの様子
5	(2) もっと知りたい 鴻巣
6	2わたしたちのくらしをさ さえる人々の仕事
7	(1) 1花づくり農家の仕事
9	(2) 人形工場の仕事
10	(3) 店ではたらく人々の仕事
11	3くらしを守る (1) 火事をふせぐ
12	(2) 事故・事件をふせぐ
1	4わたしたちのくらしの うつりかわり
2	
3	

算数科 3年

☆学習すること

3年生は年間175時間の授業を通して、次の内容を学習します。

- ・万の位の整数（1億までの整数）
- ・3桁や4桁の数のたし算とひき算
- ・2桁や3桁の数の×1桁や2桁の整数の計算
- ・わる数と答えが1桁の数のなる整数のわり算
- ・小数と分数の意味や表し方
- ・小数第一位までの小数のたし算やひき算
- ・分数
- ・簡単な場合の分数のたし算やひき算
- ・そろばんによる数の表し方とたし算やひき算
- ・長さの単位（km）重さの単位（g、kg）
- ・時間の単位（秒）
- ・二等辺三角形、正三角形、円、球
- ・わり算の場面を式に表すこと
- ・□などを用いた式
- ・棒グラフの読み方や書き方

☆評価の観点

算数科では、次の3つの観点で評価します。

- ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解しているとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。（知識・技能）
- ② 「日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力」「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を身に付けている。（思考・判断・表現）
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

☆保護者の方へ

- ① 「東京書籍」の教科書を使用して学習をすすめています。その他に、計算ドリルを購入して使用します。家庭学習にも活用してください。
- ② ノートは、10mm方眼を使用します。ご利用ください。
- ③ 算数での学習内容を、生活に関連づけるようご家庭でも意識していただくと、より効果が上がると思います。



☆学習予定

学期	単元名	おもな学習の内容
一学期	1 かけ算	◎かけ算のきまり、0のかけ算
	2 時と分と時間のもとめ方	◎時と分と時間のもとめ方 ◎短い時間、1分=60秒
	3 わり算	◎わり算の意味と商の求め方 ◎何倍かを求める計算
	4 たし算とひき算の筆算	◎4位数までのたし算とひき算の筆算の仕方
	5 長いものの長さの表し方	◎巻尺の使い方、 ◎長さの単位「km」、 1km=1000m
	6 ぼうグラフと表	◎整理の仕方 ◎ぼうグラフの読み方、書き方 ◎表のまとめ方と読み方
	7 暗算	◎2位数どうしのたし算とひき算の暗算の仕方
二学期	8 あまりのあるわり算	◎わりきれない場合のわり算の計算の仕方 ◎答えの確かめ方
	9 大きい数のしくみ	◎1億の位までの整数の仕組み ◎数直線、等号、不等号 ◎整数を10倍、100倍した数
	10 かけ算の筆算（1）	◎2位数×1位数、3位数×1位数の筆算の仕方 ◎倍の計算
	11 大きい数のわり算	◎わる数が1位数で商が2位数のわり算の計算
	* どんな計算になるのかな	◎文章問題の解決
	12 円と球	◎円と球 ◎中心、半径、直径 ◎コンパスの使い方
	13 小数	◎はしたの大きさの表し方 ◎小数の仕組み ◎小数第一位までのたし算ひき算
三学期	14 重さのたんいとばかり方	◎重さの比べ方と単位「g」「kg」 ◎ばかりの使い方、1kg=1000g ◎重さの計算
	15 分数	◎分数の意味、分子、分母 ◎分数と小数 ◎分数のたし算とひき算
	16 □を使った式	◎□を使って場面を式に表す。
	17 かけ算の筆算（2）	◎2位数×2位数の筆算 ◎2位数×1位数の暗算 ◎3位数×2位数の筆算
	18 三角形と角	◎二等辺三角形、正三角形の意味 ◎二等辺三角形、正三角形の作図 ◎図形の「角」
	○ そろばん	◎整数、小数のたし算とひき算
	* 考える力をのばそう * 3年生のふくしゅう	◎図を活用した問題解決 ◎一年間のまとめ

理科 3年



理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。特に3年生では、育成を目指す問題解決の力の中で『差異点や共通点を基に、問題を見いだす力』を養うことを目標としています。

3年生で学ぶ主な内容

【物質・エネルギー】

風やゴムの力、光、音、ものの重さ、電気の通り道、じしゃく

【生命・地球】

生き物を調べよう、植物を育てよう、チョウを育てよう、こん虫の世界、太陽と地面



評価の観点

■知識・技能

自然の事物・現象に働きかけ、問題解決をしていくことを通して科学的な理解を深めたり、観察・実験などに関する技能を身に付け、得られた結果を適切に記録したりすることができる。

■思考・判断・表現

児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見いだし、予想や仮説を基に観察・実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導きだすといった問題解決を行うことができる。

■主体的に学習に取り組む態度

意欲的に自然の事物・現象に関わろうとしたり、粘り強く問題解決しようとしたり、他者と関わりながら問題解決したり、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとしたりしようとしている。

単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

	月	学 習 の 予 定
1学期	4	○ 「なぜ？」をさがしに行こう 1 生き物を調べよう
	5	2 植物を育てよう 3 チョウを育てよう
	6	4 風やゴムの力
	7	○ 葉を出したあと
	8	夏休みの自由研究
2学期	9	5 こん虫の世界 ○花をさかせたあと
	10	6 太陽と地面
	7	光
	11	8 音
	12	9 ものの重さ
3学期	1	10 電気の通り道
	2	11 じしゃく
	3	○ 作って遊ぼう

音楽科 3 年

♪ 音楽で学習すること ♪

3年生の音楽では、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能や、音楽を味わって聴く力を身に付け、生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を育てます。

学習の過程で、旋律を演奏する身近な楽器として、初めてリコーダーを学習します。歌うことや楽器を演奏することへ意欲、主体的に取り組む気持ちを大切にしながら学習を進めていきます。

♪ 3年生の内容 ♪

・音楽の内容は大きく「表現」と「鑑賞」の二つに分かれています。

表現

○歌や演奏するときに、どのように表現したいか思いや意図をもったり、まとまりを意識した音楽づくりの発想を得たりする。

○曲想、歌詞、音色、響きなどと音楽との関わりに気付いたり、音の組合せの特徴に気付いたりする。

○楽譜を見て歌ったり、演奏したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする。

鑑賞

○曲や演奏のよさなどを感じて味わって聴いたり、曲想とその変化、音楽との関わりについて気付いたりする。

♪ 学習活動を通して ♪

- ・3年生では、年間60時間、音楽の授業があります。
- ・授業以外でも、朝の会で歌ったり、音楽朝会に歌ったりして、音楽に親しみます。
- ・音楽朝会では、学年ごとに進行を担当し、今月の歌を中心に歌唱する曲のめあてを持ちながら全学年で合唱し、音楽の楽しさや美しさを味わいます。

・始業式や終業式、運動会などの行事でも校歌などを歌い、音楽の学習を生かして、音楽を

♪ 評価の観点 ♪

- 知識・技能・・・・・・・・曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能が身に付いている。
- 思考・判断・表現・・・・・・・・音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・・・・・・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとしている。

♪学習の予定♪

月	題 材 名	教材 (鑑賞教材 共通教材)
4	音楽で心をつなげよう	・校歌・国歌・ハッピーソング ・リズムでなかよくなろう ・春の小川・春まつり
5	歌って音の高さをかんじよう	・ドレミで歌おう ・ドレミと友だちになろう ・海風きって
6	リコーダーのひびきに親しもう	・はじめましてリコーダー ◎小鳥のために・リコーダーと友だち ◎ピタゴラスイッチ ・タンギングと息の使い方 ・いろいろなシの音であそぼう ・きれいなソラシ・坂道
7		・いろいろな音であそぼう・雨上がり ・ゆかいな本さん・あの空のように ・アチャハチャノチャ・手拍子でリズム
9	せりりつのとくちようをかんじよう	・とどけようこのゆめを ◎メヌエット ふふじ山 ふうさぎ
10	せりりつのもをかんじよう	◎かね・歌おう声高く ・リコーダーのひびき音であそぼう ・メリーさんのひつじ
11	いろいろな音のひびきに親しもう	◎トランペットふきの休日 ◎よろこびの歌 ・ハフ・クロックミュージック
12	ちいさにつたわる音楽でつながろう	◎神田囃子「投げ合い」 ・ちいさにつたわる祭りばやしを調べよう ・ラドレの音でせりりつづくり ・しめだいこにちようせんしてみよう
1	思いを音楽で表そう	・婦人道・ゴードルワイス
2	歌いつごう日本の歌	・ゆりかごの歌・七つの子 ・どこかで春が
3	みんなで楽しく♪	・ほしぞら・おはようおはよう ・にじ・ゴーゴーゴー・またあそぼ ・Head Shoulders, Knees And Toes ・友だち・ゆかいなまきば ・ミッキーマウスマーチ



図画工作科 (3年)



【図画工作科で学習すること】

- ◎ 図画工作科は、子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の方法でかいたり、つくったり、あそんだりすることの快さや楽しさを味わう教科です。
- ◎ 1年生の図画工作科では、年間60時間の授業を通し、A表現(1)『造形遊び』(2)『絵や立体・工作に表す』B鑑賞〔共通事項〕の学習をします。私たちは、2か年を見通し、学年間で関連を図りながら指導します。
- ◎《ねらい》
1 進んで表したり見たりする子を育て、つくりだす喜びを味わえるようにします。
2 豊かな発想をし、体全体の感覚や技能などを働かせて造形活動ができるようにします。
3 身の回りの作品などから、面白さやよさを感じ取れる感性を育てます。

【評価の観点】

- ◎ できあがった作品だけで評価するのではなく、子どもたちの活動の様子をのぞいて、その過程を大切にします。
- 次の3つの観点で評価します。
1 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。(知識・理解)
2 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。(思考・判断・表現)
3 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

《学習の予定》

	題 材 名 (領 域)
一学期	「絵の具と水のハーモニー」(絵) 「ふわふわ空気 つんで つなげて」(造形遊び) 「生まれかわった なかまたち」(立体) 「カラフルねん土でマイグッズ」(工作) 「かげのへんしん」(造形遊び) 「光サンドイッチ」(工作) 「はこの中の世界」(工作) 「けずってつけて わたしたちの形」(立体)
二学期	「すてきな色で すてきな花を」(絵) 「にじんで広がるものがたり」(絵) 「ようこそ! アミアミワールド」(造形遊び) 「このカタチ へんしんすると」(絵) 「みんなでつくろうねん土ランド」(立体) 「ためてあそんでマグネット」(工作) 「未来にタイムスリップ」(絵) 「ふしぎな乗りもの」(絵) 「トントンくぎ打ちコンコンビー玉」(工作)
三学期	「えっへん! わたしが主人公です」(鑑賞) 「のこぎりザクザク つないでつけて」(工作) 「うつつてふえるよ でこぼこさん」(絵・版画) 「わくわく! スーパーランドセル」(工作) 「みんなでオン・ステージ」(工作)

《子どもたちががんばってほしいこと》

- ◎ 日頃から、図画工作科の授業で使えるものを集めておきましょう。集めたものは、『図工箱』に入れておく役立ちます。材料や道具を忘れないようにしましょう。材料は、むだにしないで大切に使いましょう。道具は安全に気を付け、丁寧に使いましょう。
- ◎ 作品は、途中であきらめないで、最後までがんばり完成させましょう。
- ◎ 後かたづけは、みんなと協力して進んでしましょう。

体育科 3年

体育科で学習すること

- 各種の運動の課題をもち、活動を工夫して運動を楽しくできるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体力を養う。
- 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意して最後まで努力する態度を育てる。
- 体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。



田間宮体育の願い

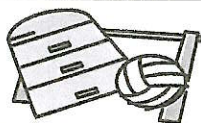
自分にあつためあてをもって、友だちと高め合う喜びを味わう体育学習

- ・動きの多様性ととも、確実性も高める。
- ・他と比べたり、挑戦したりして、できた喜びを味わう。
- ・健康で安全な生活について理解させる。

- めあての例の中から選んだり、それを参考に自分のチームにあつためあてを考えたりすることができるようにします。
- 単元の流れを理解させ、授業に取り組むことができるようにします。
- めあての達成に向けて、友だちや教師のアドバイスを聞き、修正することができるようにします。
- 指定された場を必要に応じて変え、活動することができるようにします。

身に付けさせたい力

- 「からだづくり」
 - ・敏捷性、平衡性などの調整力を身に付けることができる。
 - ・動きの多様性ととも、確実性を高めることができる。
- 「こころづくり」
 - ・競争意欲が高まるので、仲間意識の向上を図る。
 - ・自分のめあてに向かって粘り強くやりぬきながら協力してゲームができる。
 - ・課題解決の話し合いができる。



評価の観点

- 知識・技能 … 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育、発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現 … 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。
- 主体的に学習に取り組む態度 … 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、友だちの考えを認めたり最後まで努力して運動している。

学習の予定

月	領域名	<内 容>
4	体づくり	< 体ほぐし >
5	表現運動	< 表現運動 >
	表現運動	< リズムダンス >
	走・跳の運動	< かけっこ・リレー >
6	体づくり	< 体ほぐし >
7	器械運動	< マット運動 >
	水泳運動	< 浮く・泳ぐ >
9	保健	< 毎日の生活と健康 >
	ゲーム	< セストボール >
10	体づくり運動	< 多様な動きをつくる運動 >
	ゲーム	< プレルボール >
11	器械運動	< 鉄棒運動 >
12	走・跳の運動	< かけっこ・リレー >
	器械運動	< 跳び箱運動 >
1	走・跳の運動	< 幅跳び >
2	ゲーム	< ラインサッカー >
3	体づくり	< 多様な動きをつくる運動 >
	走・跳の運動	< 小型ハードル走 >

外国語活動 3年

*** 外国語活動の目標 ***

英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

- 英語を通じて
- ① 言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ② 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 - ③ 英語の音声や基本的な表現に親しませる。

外国語活動で学習すること

- *英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- *積極的に英語を聞いたり話したりします。
- *簡単な語句や基本的な表現を大文字や小文字を使って書いたりします。
- *言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ります。
- *英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付きます。
- *日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付きます。
- *異なる文化をもつ人々との交流等を体験し文化等に対する理解を深めます。

*** 評価の観点 ***

- ① 言語や文化の理解を深めているか。
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
- ③ 外国語の音声や表現に慣れ親しんでいるか。

*** 保護者の方へ ***

- ・外国語活動においては、原則として英語を取扱います。
- ・多くの表現を覚えたり、細かい文法事項を理解するのではなく、簡単な表現を読んだりすることでコミュニケーションを図り、英語に慣れ親しむことに重点を置いていきます。
- ・今年度は担任とALTでの授業です。
- ・CDやDVDなどの視聴覚教材や絵カード、Let's Try! I (文科省教材) を活用していきます。



学習の予定 (年間 35 時間)

	タイトル	主な使用表現 内容 等
1 学 期	1 Hello! あいさつをして友だちになろう (2時間)	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you. ・様々な言語での挨拶を知る。 ・自分の名前を伝え、挨拶をする。
	2 How are you? ごきげんいかが? (2時間)	How are you? I'm (happy). ・友達と挨拶をしてジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。
	3 How many? 数えて遊ぼう (4時間)	How many (apples)? Ten (apples). Yes. That's right.. No. Sorry. ・身の周りの物の数や好きな漢字の画数を伝え合う。
	4 I like blue. 好きなものをつたえよう (4時間)	I like (blue). Do you like blue? Yes. I do. No I don't I don't like (blue). ・自分の好きなものについて話したり、質問に答えたりする。
2 学 期	5 What do you like? 何が好き? (4時間)	What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer). ・どのような物が好きか伝え合う。
	6 ALPHABET アルファベットとなかよし (4時間)	(Card"A") please. Here you are. Thank you. You are welcome. ・文字のカードを使って自分の姓名の頭文字を伝え合う。
	7 This is for you. カードをおくろう (5時間)	What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You are welcome. ・欲しい色や形を伝え合う。 ・作成したカードを紹介する。
3 学 期	8 What's this? これ なあに? (5時間)	What's this? Hint, please. It's (fruit). It's (green). It's (a melon). That's right. ・クイズを作り、動作を変えながら尋ねたり答えたりする。
	9 Who are you? ～"In the Autumn Forest"～ きみはだれ? (5時間)	Are you (a dog)? Yes. I am. No. I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please. ・物語を聞いて簡単な語句や表現とイラストなどを結びつける。

道徳科 3 年

学習予定

道徳科で学習すること

期	月	教材名	項目
1 学期	4	貝がら あめ玉	B 友情、信頼 C 規則の尊重
	5	目の見えない犬 鬼太郎をかいたゲゲさん あきらめたらアカン 金色の魚	D 生命の尊さ A 個性の伸長 A 希望と勇気 A 節度、節制
	6	*かなちゃんへの手紙 アメリカから来たザラさん フロレンス・ナイチンゲール物語 あと、一言	B 礼儀 C 国際理解 B 親切、思いやり A 善悪の判断
	7	二人だけのひみつ しんばいは自分たちで	A 正直、誠実 C 公正、公平
	9	*おにぎりとおみそしる ひきかえらとろば けいの秋田竿燈まつり まっかな夕日	B 感謝 D 生命の尊さ C 伝統と文化の尊重 D 感動、畏敬の念
	10	見つからないリコーダー なかよしポスト 心にひびくかねの音 六さいのおよめさん	A 節度、節制 C よりよい学校生活 A 善悪の判断 D 生命の尊さ
	11	一まいの銀貨 心をつないだ言葉 ハロー、サンキュー みんなの学級会	C 家族愛 C 伝統と文化の尊重 B 親切、思いやり B 相互理解
2 学期	12	ハチドリのはたとしずく ぼかぼか言葉 わらじ作り	D 自然愛護 B 親切、思いやり C 勤労
	1	ずきなことだから高橋尚子物語 *よるこびはだれに 絵葉書と切手	A 希望と勇気 C 規則の尊重 B 友情、信頼
	2	思いをこめて パラリンピックにねがいをこめて 言い出せなくて	C 国際理解 C 公正、公平 A 善悪の判断
3 学期	3	明るくなった友だち 幸福の王子	B 友情、信頼 D 感動、畏敬の念

*彩の国の道徳（埼玉県独自の道徳教育教材資料集）
1 学期：「学級づくりの羅針盤」より
2 学期：「心の絆」より
3 学期：「未来に生きる」より

A 主として自分自身に関すること

- (1) 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
- (2) 過ちは素直に認め、正直に明るい心で生活すること。
- (3) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- (4) 自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。
- (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
- (7) 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。
- (8) 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。
- (9) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。
- (10) 自分の考えや意志を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼し、助け合うこと。

C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (11) 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る。
- (12) 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。
- (13) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。
- (14) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。
- (15) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。
- (16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。
- (17) 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (18) 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。
- (19) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。
- (20) 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。

評価の視点

○道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察や面接、質問用紙、作文等を利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
○道徳科に関しては、数値などによる評価は行いません。

ふれあう時間（総合的な学習の時間） 3 年

ふれあう時間（総合的な学習の時間）とは

地域や学校、児童の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動を行うことができる時間です。地域社会や国際理解、情報、環境、福祉健康などについて、児童自らが興味・関心に基づいた課題を設定し、仲間と協働しながら教科横断的に学習するプロジェクト型学習を進めます。3 年生では、7 0 時間学習します。

ふれあう時間の目標

- 児童が学習や生活の中から、自分で課題を見つけ出すことができるようになります。
- 自ら考え判断し、問題を解決していく経験を通して、学び方を身につけるようになります。
- いろいろな「ふれあい」を通して、人としての生き方や在り方を学びます。



育てたい力・態度

- 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究課題に対する自分なりの結論を見出す力。
- 体験や他者から得た情報を基にして自ら課題を設定し、調査して得た情報を自分なりの根拠をもってまとめ、表現する力。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度。

児童の学習活動

- 次の段階を踏まえ学習を進めます。
- 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
- 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
- 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- 【まとめ・表現】気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

評価の観点

- ・テーマにそって自分がやりたいことを計画し、続けられたか。
 - ・学習してきたことを、効果的にまとめレポート、絵、作品、資料等を整理し工夫して発表できたか。
 - ・グループで協力して積極的に取り組めたか。
 - ・学んだことを日常に生かそうとしていたか。
- ※テストや優秀をつけるような評価は行いません。

保護者の方へ

児童が取り組んでいることについて、ご家庭でも話題にいただければ、児童の関心も高まります。
また、経験等を生かしゲストティーチャーとして児童に話をしていただける方や、校外での学習時に児童の安全のため、支援ボランティアをしていただける方を探しています。

	月	テーマ・ねらい	技能（ローマ字入力・インターネット検索・プログラミング）
1 学期	4	オリエンテーション	
	5	「わくわくどきどき 大好きこうのす」 湧泉の歴史や文化、施設などについて調べ、グループで共通の課題について活動を進めていくことで、意欲的に活動できるようにするとともに、人と積極的に関わりがもてるようにします。	
	6		
	7		
2 学期	9	パソコンの使い方に慣れる学習 学習アプリ(L-gate)や会議用アプリ(Teams)の使い方、インターネット検索、資料の保存などを学習する他、ローマ字入力の練習やScratchを使ってプログラミングを学習します。	
	10		
	11		
	12	「やさしさ発見」 「人へのやさしさ」をテーマとし、身の回りの記号やマーク、施設等（ユニバーサルデザイン・バリアフリー）のなかにはだれもが安全で豊かに生活していくことを目的としたものがたくさんあることに気付かせます。さらに、それらを詳しく調べ、まとめていくことで、福祉への関心を高めていきます。	
3 学期	1		
	2		
	3		

ふれあう時間（総合的な学習の時間）とは

地域や学校、児童の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動を行うことができる時間です。地域社会や国際理解、情報、環境、福祉健康などについて、児童自らが興味・関心に基づいた課題を設定し、仲間と協働しながら教科横断的に学習するプロジェクト型学習を進めます。3年生では、70時間学習します。

ふれあう時間の目標

- 児童が学習や生活の中から、自分で課題を見つけ出すことができるようになります。
- 自ら考え判断し、問題を解決していく経験を通して、学び方を身につけるようになります。
- いろいろな「ふれあい」を通して、人としての生き方や在り方を学びます。



育てたい力・態度

- 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究課題に対する自分なりの結論を見出す力。
- 体験や他者から得た情報を基にして自ら課題を設定し、調査して得た情報を自分なりの根拠をもってまとめ・表現する力。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度。

児童の学習活動

- 次の段階を踏まえ学習を進めます。
- 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
- 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
- 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- 【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

評価の観点

- ・テーマにそって自分がやりたいことを計画し、続けられたか。
 - ・学習してきたことを、効果的にまとめレポート、絵、作品、資料等を整理し工夫して発表できたか。
 - ・グループで協力して積極的に取り組めたか。
 - ・学んだことを日常に生かそうとしていたか。
- ※テストや優劣をつけるような評価は行いません。

	月	テーマ・ねらい	技能（ローマ字入力・インターネット検索・プログラミング）
1学期	4	オリエンテーション	
	5	「わくわくどきどき大好きこうのす」	
	6	鴻巣の歴史や文化、施設などについて調べ、グループで共通の課題について活動を進めていくことで、意欲的に活動できるようにするとともに、人と積極的に関わりがもてるようになります。	
	7		
2学期	9	パソコンの使い方に慣れる学習	
	10	学習アプリ（L-gate）や会議用アプリ（Teams）の使い方、インターネット検索、資料の保存などを学習する他、ローマ字入力の練習やScratchを使ってプログラミングを学習します。	
	11		
	12		
3学期	1	「音楽の種をさがしに行こう！」	
	2	歌唱や楽器演奏、旋律やリズムの創作活動を通して豊かな表現力を身に付けていきます。活動を音楽劇にまとめ、主体的に表現し、工夫して発表します。	
	3		

保護者の方へ

児童が取り組んでいることについて、ご家庭でも話題にいただければ、児童の関心も高まります。

また、経験等を生かしゲストティーチャーとして児童に話をしていただける方や、校外での学習時に児童の安全のため、支援ボランティアをしていただける方を探しています。ご協力をお願い致します。

★特別活動の目標★

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指します。

★特別活動の活動内容★

学級活動	学校行事	児童会活動
(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事 遠足・集団宿泊的行事 勤労生産・奉仕的行事	1年生を迎える会 卒業を祝う会 陸上選手を はげます会 等



◇学級活動の学習の予定◇

月	(1) 学級や学校の生活づくりに関する内容 23時間	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全に関する内容 8時間	(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する内容 4時間
	《予想される議題例》	《題 材》	《題 材》
1学期	・話し合いの計画を作ろう ・学級の目標を決めよう ・1年生を迎える会をやろう ・係を決めよう ・学級の歌を決めよう ・給食当番を決めよう ・係のコーナーを決めよう ・運動会の約束を決めよう ・学級のシンボルマークを決めよう ・雨の日の遊びを決めよう ・スポーツ大会をしよう	○友だちと仲良く ・楽しい運動会 ○美しい苗並び ・雨の日を楽しく ○楽しい夏休み ・整理整頓	○3年生になって ・係と日直 ・給食の準備 ・学校の行き帰り ○図書室の使い方 ・本を大切に ・掃除の仕方
2学期	・係を決めよう ・グループのめあてを決めよう ・兄学の約束やパスレクを決めよう ・係のコーナーをつくろう ・新聞コンクールをしよう ・2学期の自慢大会をしよう	○2学期をむかえて ○社会科見学 ・学習の準備 ・大切な目 ・かぜの予防 ・効果的な家庭学習 ・健康的な冬休み ・こづかいの使い方	○読書会をしよう
3学期	・係を決めよう ・「卒業を祝う会」の出し物を決めよう ・サッカー大会をしよう ・兄弟クラスの遊びを決めよう ・6年生に色紙を送ろう ・学級のお別れ会をしよう	・3学期をむかえて ○給食と給食週間 ・恐ろしい交通事故 ・持ち物を大切に	○クラブの遊び方 ○もうすぐ4年生 ・みんなにありがとう ・もうすぐ春休み

